

気象講演会『伊勢湾台風から50年、数値予報業務50年 ―情報の進化とそれを支える技術の発展―』の開催について

死者5,000人以上という大災害をもたらした伊勢湾台風から今年で50年を迎えます。この間、さまざまな防災対策が進み、台風による被害は確実に減ってきました。しかし、依然として毎年のように犠牲者が出ているのが現状です。

今般、台風情報について一層ご理解いただくため、台風情報の発展の歩みと今後の進むべき方向性、台風情報を支える数値予報技術の開発成果と未来への取り組みなどについて講演会を開催いたします。

この機会にぜひ聴講ください。

1．日 時 平成 2 1 年 8 月 2 0 日（木）

受付開場 1 7 : 3 0 開演 1 8 : 0 0 終演予定 2 0 : 1 0

2．場 所 一橋記念講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内）

3．入場料 無料

4．定 員 5 0 0 名

5．主 催 国土交通省気象庁

6．内 容

講演 1 : 「台風災害と台風予報」

講師：高瀬 邦夫 気象庁予報部予報課長

講演 2 : 「数値予報の発展の歩みと未来 ―台風予報を中心として―」

講師：岩崎 俊樹 東北大学大学院理学研究科教授

講演 3 : 「台風防災と気象情報」

講師：高田 齊 NHK気象キャスター、NPO法人気象キャスターネットワーク監事

内容は高校生以上を対象にしています。

7．参加方法

往復はがき又は気象庁ホームページからの事前申込みが必要です。

申込期間は、7月28日（火）から8月16日（日）までです。

本件に関する問合せ先

総務部総務課広報室

TEL 03-3212-8341（内線 2126）

参 考

【講演 1】

演 題：台風災害と台風予報（30分）

講 師：気象庁予報部予報課長 高瀬 邦夫

概 要：台風情報とそれを支える予測技術の発展、さらには台風情報の進化、台風情報改善に向けた最近の調査研究など、台風防災を中心とした気象庁の取り組みについて紹介します。



【講演 2】

演 題：数値予報の発展の歩みと未来

—台風予報を中心として—（40分）

講 師：東北大学大学院理学研究科教授 岩崎 俊樹

概 要：台風予報の改善にまつわる苦労などを交えながら、数値予報50年のレビューと今後の数値予報のあるべき姿、あるいは進むべき方向などについて講演いただきます。



【講演 3】

演 題：台風防災と気象情報（40分）

講 師：NHK気象キャスター 高田 斉

概 要：最近の台風情報等の改善を通じて気象解説がどのように変わってきたか、こうした情報が気象解説においてどのように活用されているか、また、ひとりひとりが気象災害から身を守るために気象解説にあたって工夫していることなどについて講演いただきます。

